

私たちの「仲間たち」

282

一番危険な動物？

「マムシ」と聞くと、あまり良いイメージはなかなか見つからない。「怖い」「毒ヘビ」くどい」「執念深い」、さらには、陰口をささやくとき、「まったく、あの人はマムシのような人だ」などまで使われてしまう。また、攻撃的で飛び掛かってくるほど凶暴なヘビだと思っている人が多いのではないだろうか。だが、当のマムシはいたって温厚で、また結構臆病で、人間に会おうと尻尾を巻いて自ら逃げてしまう（実際には巻かないが）。しかし、踏み付けたり、つかんでしまった



▲鳩山の動植物
二ホンマムシ(クサリヘビ科)

などの出会い頭の場合は事情が違い、身を守るため、やむなく殿下の宝刀であるかみつぎ行動にでる。

体長は40〜80cmで、体長に比べ胴が太くずんぐりしていて、頭の形は三角、体全体に通称「銭型」模様の黒い斑紋があるのが特徴。鼻先にピット官という器官があり、熱を感じることができる機能を持ち、動物の体温を察知して捕獲するらしい。食性は肉食系で、ネズミ・カエル・爬虫類などを食べる。水辺を好むため、田んぼの水口や、平地から山地の水のある場所・森林・藪などにすみ、沖縄以外の全国どこにも生息している。（長崎県対馬のものは別種）。

マムシの特徴でもう一つ変わったところで、普通のヘビは卵をすぐに体外に産み出すが、マムシは卵胎生といって、卵を胎内でふ化させてから子を産む。つまり、より私たちが人間に近い形で出産するのだ。2〜3年に一度産むらしい。気温も上がり、野外で過ごす機会が多くなる。野山に入る時は暑いが、地肌を出さないのが寛容かと思う。7月は子どもをかかえたメスが多くなる。突然出くわしたら、あちらもびっくりして身を守ろうとするのは仕方がないことだ。もちろん、マムシだけではなく、ハチやケムシにもお気をつけを！
(写真・文 浅見勉)

人口と世帯

6月1日現在、()は対前月比	
人口	14,817人 (-14)
男	7,342人 (-11)
女	7,475人 (-3)
世帯	5,803世帯 (-2)
5月の出生数	1人

7月の納税・納付

固定資産税	(第2期)
国民健康保険税(普通徴収)	(第1期)
介護保険料(普通徴収)	(第1期)
後期高齢者医療保険料(普通徴収)	(第1期)

●納期限を過ぎると、納付までの日数に応じて延滞金が増加されます。納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編集日記

▼本号を編集している6月は「食育月間」であったことから、自分でも、自身の食生活について改めて考えてみました。一般的に言われている「バランスのよい食生活」には、大きく分けて、主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物という区分をバランスよく食べているかどうかになるそうです。

さて、自分が日常的に食べているものを思い起こしてみますと、牛乳・乳製品と果物が圧倒的に不足しています。ここ数年、牛乳やヨーグルトを食べる習慣がなく、果物は元々ほとんど食べません。不足している食品群をイメージすると、すぐに思い起こすのは、学校の給食です。学校給食ではほぼ毎日牛乳が、そして果物も定期的なメニューだったと思います。当たり前のことですが、やはり、給食はバランスを考えての食事であることを実感します。学校を卒業すると、「給食が懐かしい」と思う方は多いと思います。今後は、それを一歩進めて、「給食のようなメニュー」を意識した食生活を目指したいと思っています。Ⓚ